



検証 健康格差社会

編集 近藤克則



検証「健康格差社会」

介護予防に向けた社会疫学的大規模調査

近藤克則＝編

本体 4,200 円＋税／B5 判・200 頁／医学書院／2007

『健康格差社会—何が心と健康を蝕むのか』（医学書院、2005）で、行き過ぎた経済格差は“負け組”だけでなく“勝ち組”の健康までも悪化させること、一方、人間同士の温かなつながりや信頼、安心感が健康を促進させることを示した近藤氏。その検証編である本書では、高齢者 3.3 万人の大規模調査に基づき、そうした「健康格差」の実態を明らかにした。「高齢者虐待」も、その分析対象になっている。その結果、わかったことは、「うつ」「転倒」「閉じこもり」、そして「虐待」にも、社会経済的地位による最大約 7 倍もの格差があること。これらも健康リスク因子として、健康政策・介護予防の戦略を練る。